

2019 年度第 3 回 SSI 学会誌編集委員会議事録

日 時：2020 年 4 月 14 日（火）メール審議

【報告事項】

1. 学会誌発行状況について

和文誌および英文誌の発行状況について、以下のように報告された。

■和文誌『社会情報学』（毎年 3 回：6 月、12 月、3 月発行予定）

- ・ 8 巻 2 号（2019 年 12 月発行）
→ 特集「計算社会科学」論文 5、論文 8（原著論文 5、研究 3）、書評 1
- ・ 8 巻 3 号（2020 年 3 月発行予定）
- ・ 9 巻 1 号（2020 年 6 月発行予定）

■英文誌『Journal of Socio-Informatics』（毎年 1 回：9 月発行予定）

- ・ Vol. 12（2019 年 9 月発行）
→ Refereed Original Paper 1、Translation 2
- ・ Vol. 13（2020 年 9 月発行予定）

2. 査読状況について

2020 年 4 月 14 日現在の査読状況を確認した。

- ・ 2017-07、2019-06、2019-09、2019-10、2019-17、2019-20、2019-21、2019-23、2019-24 は 8 巻 3 号に掲載予定。
- ・ 2019-18、は審査中であることを確認した。

3. 和文誌『社会情報学』編集長について

和文誌『社会情報学』編集長の予定について、以下のように報告された。

■和文誌編集長 / 副編集長一覧

- ・ 5 巻（2016 年度）：岡田勇委員 / 伊藤賢一委員
- ・ 6 巻（2017 年度）：伊藤賢一委員 / 河井延晃委員
- ・ 7 巻（2018 年度）：河井延晃委員 / 小笠原盛浩委員
- ・ 8 巻（2019 年度）：小笠原盛浩委員 / 小寺敦之委員
- ・ 9 巻（2020 年度）：小寺敦之委員 / 嶋崎真仁委員
- ・ 10 巻（2021 年度）：嶋崎真仁委員 / 未定

4. 和文誌『社会情報学』編集担当責任者について

和文誌『社会情報学』編集担当責任者の予定について、以下のように報告された。

■和文誌編集担当責任者一覧

- ・ 5 巻 2 号 (2016 年 12 月発行) : 河井延晃委員
- ・ 5 巻 3 号 (2017 年 3 月発行) : 松下慶太委員
- ・ 6 巻 1 号 (2017 年 10 月発行) : 山本仁志委員
- ・ 6 巻 2 号 (2018 年 5 月発行) : 大國充彦委員
- ・ 6 巻 3 号 (2018 年 7 月発行) : 金山智子委員
- ・ 7 巻 1 号 (2018 年 9 月発行) : 高橋徹委員
- ・ 7 巻 2 号 (2018 年 12 月発行) : 嶋崎真仁委員
- ・ 7 巻 3 号 (2019 年 3 月発行) : 小川明子委員
- ・ 8 巻 1 号 (2019 年 6 月発行) : 河島茂生委員
- ・ 8 巻 2 号 (2019 年 12 月発行) : 叶少瑜委員
- ・ 8 巻 3 号 (2020 年 3 月発行予定) : 是永論委員
- ・ 9 巻 1 号 (2020 年 6 月発行予定) : 佐久間勲委員
- ・ 9 巻 2 号 (2020 年 12 月発行予定) : 杉山あかし委員
- ・ 9 巻 3 号 (2021 年 3 月発行予定) : 加藤由樹委員
- ・ 10 巻 1 号 (2021 年 6 月発行予定) : 加藤尚吾委員

5. 英文誌『Journal of Socio-Informatics』編集長について

英文誌『Journal of Socio-Informatics』編集担当責任者の予定について、以下のように報告された。

■英文誌編集長 / 副編集長一覧

- ・ 8 巻 1 号 (2016 年 2 月発行) : 櫻井成一朗委員 / 金相美委員
- ・ 9 巻 1 号 (2016 年 9 月発行) : 伊藤賢一委員 / 河又貴洋委員
- ・ 10 巻 1 号 (2018 年 5 月発行) : 野田哲夫委員 / 小笠原盛浩委員
- ・ 11 巻 1 号 (2018 年 9 月発行) : 小笠原盛浩委員 / 北村順生委員
- ・ 12 巻 1 号 (2019 年 9 月発行予定) : 北村順生委員 / 土屋祐子委員
- ・ 13 巻 1 号 (2020 年 9 月発行予定) : 土屋祐子委員 / 金山智子委員
- ・ 14 巻 1 号 (2021 年 9 月発行予定) : 金山智子委員 / 未定

【審議事項】

1. 和文誌副編集長の増員

和文誌『社会情報学』の投稿論文数が急増しているため、正副編集長による査読管理業務の負担も急増している。この状態に対応するため、以下のように副編集長を増員する（副編

集長 B の新設) ことが提案され、承認された。

<現行>編集長 1 名・副編集長 1 名

●編集長

- ・任期：1 年（前年度副編集長の任期と合計して 2 年）
- ・役割：査読状況の管理（リスト更新）

●副編集長（次年度の編集長）

- ・任期：1 年（次年度編集長の任期と合計して 2 年）
- ・役割：編集長と合同で査読状況の管理（リスト更新）

<新規>編集長 1 名・副編集長 2 名

●編集長

- ・任期：1 年（前年度副編集長の任期と合計して 2 年）
- ・役割：査読状況の管理（リスト更新）

●副編集長 A（次年度の編集長）

- ・任期：1 年（次年度編集長の任期と合計して 2 年）
- ・役割：編集長と合同で査読状況の管理（リスト更新）

●副編集長 B

- ・任期：2 年
- ・役割：完成論文の管理、J-Stage 担当兼務

2. 「編集作業マニュアル」の変更

和文誌「編集作業マニュアル」の内容の変更が提案され、(1) と (3) については以下の原案のまま承認された。(2) については、以下のように文言を修正した上で承認された。

(1) 査読者の選定プロセスのフローの明記

査読者選定の際の審査担当委員の業務の流れを明記することで、正副編集長の負担軽減を図る。

旧	新
3. 査読者または閲読者の決定 ・「原著論文」または「研究」の場合、審査担当委員は <u>編集長・副編集長と相談の上で、論文査読者 3 名を決定する。「展望・ノート」の場合は、閲読者 1 名を決定する。査読者または閲読者への依頼交渉は、編集長・副編集長に依頼予定の査読者名の報告を一括しておこなったうえで審査担</u>	3. 査読者または閲読者の決定 ・「原著論文」または「研究」の場合、審査担当委員は、 <u>会員名簿や学会誌への過去の投稿論文などを参考に、論文査読者候補 3 名を決定する。「展望・ノート」の場合は、閲読者候補 1 名を決定する。審査担当委員は、依頼予定の論文査読者候補 3 名または閲読者候補 1 名を編集長・副編集長に一括</u>

<p>当委員が行う。編集長・副編集長は査読者名の報告を受けて査読負荷の過度な集中を避けるため必要があれば調整を行う。</p>	<p>して報告し、了承を得る。編集長・副編集長は、査読または閲読の負担の過度な集中を避けるために、必要に応じて審査担当委員に論文査読者候補または閲読者候補の見直しを求める。編集長・副編集長が論文査読者候補または閲読者候補を了承した後に、審査担当委員は論文査読者候補または閲読者候補への依頼交渉を行う。</p>
--	--

(2) 修正原稿の提出が遅れた場合の対応の追記

総合評価が「B. 修正意見付き仮採択」または「C. 再査読」となり、修正原稿の提出が期限より遅れた場合の対応について追記する。

旧	新
<p>7. 掲載採否の通知と修正原稿の依頼 (中略) ・修正原稿の提出先は審査担当委員、提出期限は結果の通知より1ヵ月後とし、原則として提出期限の延長は認めない。</p>	<p>7. 掲載採否の通知と修正原稿の依頼 (中略) ・修正原稿の提出先は審査担当委員、提出期限は結果の通知より1ヵ月後とし、原則として提出期限の延長は認めない。<u>期限内に修正原稿の提出がなく、投稿者から特段の考慮すべき理由による延長の申し出もない場合、審査担当委員は直ちに投稿者に審査終了の旨を告げ、当該投稿論文は取り下げられたものとして編集委員会に報告する。</u></p>

(3) 「編集作業FAQ」の作成

「編集作業マニュアル」の文言の解釈だけでは判断が難しいため、正副編集長に問い合わせを要する事例が生じている。個々の具体的な事例に対する対応とその根拠を示した「編集作業FAQ」を作成し、編集委員の審査業務およびそのポリシーの理解を促す。

「編集作業FAQ」ver.1は正副委員長および正副編集長の経験者により作成し、適宜、更新していくこととする。

なお、学会誌編集の基本方針（編集ポリシー）を別途策定し、学会誌編集における基本的な考え方を明記していくことを検討する。

3. 査読謝金振込依頼書の書式の整備

学会事務局会計担当より、査読謝金の振込依頼に際して、必要となる情報が提示されたた

め、「査読謝金振込依頼書」書式を別紙のように整備する。

また、これにともない、「編集マニュアル」の内容を以下のように変更する。

これらの点について提案され、承認された。

旧	新
<p>6. 審査結果の決定 (中略)</p> <p>・ 投稿論文の採択または不採択の審査結果の確定後、審査担当委員は学会事務局財務担当 (office-zaimu@ssi.or.jp) あてに、<u>査読者の口座情報 (金融機関名・支店名・口座番号・口座名義・口座名義ヨミガナ) および謝礼金額 (5 千円) を伝え、査読謝礼の支払い依頼を行う。</u></p>	<p>6. 審査結果の決定 (中略)</p> <p>・ 投稿論文の採択または不採択の審査結果の確定後、審査担当委員は学会事務局財務担当 (office-zaimu@ssi.or.jp) あてに「<u>査読謝金振込依頼書</u>」(様式 13) を送付し、査読謝礼 <u>(5 千円)</u> の支払い依頼を行う。</p>

4. 奥付への正副編集長、編集担当者の明記

学会誌の編集作業において、正副編集長および編集担当責任者の役割は益々重要となっている。このため、和文誌においては当該号の正副編集長および編集担当責任者を、英文誌においては正副編集長を奥付に明記することが提案され、承認された。

以上

【別紙一覧】

別紙 1 和文誌「編集作業マニュアル」修正案

別紙 2 「査読謝金振込依頼書」書式

別紙 3 第 3 回 SSI 編集委員会「編集作業の見直し等に関する提案事項」(8 巻正副委員長)